

豊川市地域公共交通会議

平成21年2月1日設置



概要

合併により市域が広がったが、合併前の旧市町で運行していたバス路線をそのまま引き継いでいるため、市内各地域の結びつきがない。このことから、市域全体の一体化の醸成や、市民の日常生活における移動確保、また、効率的な行政負担を行うため、豊川市公共交通基本計画を策定し、市民ニーズに対応した持続的かつ効率的なバス路線への見直しを図る。

○地域公共交通の現況

- ・市内運行バス(4路線、実施主体:市)
豊川北部線、一宮健康福祉センター送迎バス、音羽コミュニティバス、御津福祉乗合タクシー
- ・民営広域路線バス(2路線)
- ・鉄道:JR東海道本線(2駅)、JR飯田線(7駅)、名鉄本線(6駅)、名鉄豊川線(4駅)

○地域公共交通の課題

- ・市内各地域の結びつきがないバス路線
- ・利用者の減少による行政負担の増加
- ・新市民病院へのアクセス交通の確保

○調査の主な内容

- ・住民ニーズ把握調査
- ・交通施策の基本計画と具体的展開策の検討
- ・地域での取り組み方法の検討
- ・路線再編・実証実験計画の策定

○地域公共交通総合連携計画の策定

- ・基幹バス路線の検討・設定
- ・地域路線におけるコミュニティバス・乗合タクシーの導入検討

